

(東京電話) 本日午前十時財部海軍幹事會奉書方申出た後
任は安保海軍大將である

海相辭表奉呈

涙の人間記録

失業未亡かの夫婦別れ哀話

最後の着物も入質し
乳呑子を負ふて泣く

今やドン底であらう筈の深刻な不景氣に依つて幾多の悲劇が醸し出される

左記は失業製板職工をめぐる悲しい一個人の人間記録である

茨城縣那珂郡大宮町本郷浪吉(三)は同縣西茨城郡東中村加藤製材所の製板職工として

がしかし世の常に洩れず不景氣の煽りを食つて痛々しくも去月一日失業者として街頭に投げ出された、目の前が真暗になつた浪吉は八

方へ口をかけて見たが何處も同じ秋の夕暮れに取りついたある田村郡三春町生れ齊藤セイ(五)とも相談の上仙臺の知己をたよ

て後髪をひかるゝ思ひの浪吉はそれから獨り淋しい旅を續けて小川村から小野新町まで歩ゆんだが背のみで

司法権にたづさは各方面からの信認と人望を集めて居た仲里文平氏は湯本町三國の自宅で病氣療養中の處去る一日午後一時遂に逝去了した葬儀は十四日午後三時自家出棺並び釋迦堂に於て佛式で執行される筈左は生前故人と深交あつた辯護士門傳清吾氏の追憶談である

平町陪審員資格者の名簿は既記の如く去る一日から一周間の期間を以つて平町役場に於て縦覧に附して居るが本日迄には未だ一名も縦覧者がない從來の縦覧者を調べて見ると最初の年の昭和二年度が四名同三年度が四名で昨年度はタツタ一名である折角國民が直接

有爲の士仲里君遂に永遠の旅へ………門傳辯護士の追憶談仲里君は極めて淡白なそして剛直な人で現代の人の通じて生活を避けて居ら

職業上より見たらくる様な事がないでもなかつた様であるが之は缺點であると同時に他面に同君の特質として働く場合多くあつた次に

民間の法曹として社會國家の爲め貢献せらるゝ處必ず多大なるものがあるならば陪審員を實は御厄介ならぬ陪審員を實は御厄介と心得賞讃する事を迷惑に感する傾向があり其結果と心地をよきものがあつた、けれど共久の濱で別れた女房が其後どうなつたか全く當てどがない浪吉は昨日

質に入れて久の滾のとある木賃宿に泊つたのは去る廿八日の夜であつた全く疲れ果てた二人は此處で身の行く末を相談したがその結果、一先づ夫婦別れをして身の振り方をつけやうと來年三月三日を期して大宮の停車場に再び邂逅する契ひを立てセイは四倉町で女中奉公すべく又浪吉は乳呑子を背負つて分れ々々

驚くべき無責任さに登載洩れ等問題にしない當籠するのを迷惑と心得るが毎日支給される手當を積んで十五圓に達したのを此程村内の青年訓練所、青年團、小學校に五圓宛寄附し來つたので村民は此美舉に感激して非常に感謝して居る

けふの平町會 平町上水道工事の鐵管購入に関する随意契約に就し本日午後二時から平町會が開かれ居る

平税務署では昨今管内の法人會社が續出し現在では三百十餘の多數に及び新設會社の如きは單に會社の名稱のみで法人事務は勿論のこと會社の機能すら疑はれるものがあり法人事務の統一

法人事務研究 平税務署では昨今管内の法人會社が續出し現在では三百十餘の多數に及び新設會社の如きは單に會社の名稱のみで法人事務は勿論のこと會社の機能すら疑はれるものがあり法人事務の統一

四倉町市況 (二日)
(總貢數) 千二百八十九貫七百七十匁(高值) 二圓十錢(安值) 一圓四十錢(平均) 一圓六十九錢(掛目)十七(累計) 二萬七千四百六貫百匁

農事縣外視察 石城安島大次郎氏外九名は茨城埼玉、千葉各縣の蔬菜園藝視察の爲め四日間の豫定で五日午前七時五分平驛發にて出發すると

店頭の邪魔 自動車が既記の如く十分間隔の時間制度を嚴行する事になつた結果平驛頭附近に停留する自動車の數が増して店頭の邪魔になり營業上に差支へを生ずるので何んとか改めて貰ひ度いと本日酒井清外十數名が連印で平驛に陳情書を出した

平、湯本間の乗合自動車が既記の如く十分間隔の時間制度を嚴行する事になつた結果平驛頭附近に停留する自動車の數が増して店頭の邪魔になり營業上に差支へを生ずるので何んとか改めて貰ひ度いと本日酒井清外十數名が連印で平驛に陳情書を出した

在營中の手當を 軍人鈴木君が感謝の意

学校では先に郡内小學校長會で決議せられた通り教育勅語燒燬四十週年の記念事業として「郡教育事蹟の編輯」すること等をいづれも實行四學年以上の各教室に掲ぐ

店頭の邪魔 自動車が既記の如く十分間隔の時間制度を嚴行する事になつた結果平驛頭附近に停留する自動車の數が増して店頭の邪魔になり營業上に差支へを生ずるので何んとか改めて貰ひ度いと本日酒井清外十數名が連印で平驛に陳情書を出した

涙ながらに此旨を申出た平署員も同情して人事相談所から四倉驛迄の乗車費を出して與へた、喜んめにけふ汽車に乗つて四倉に向つた

店頭の邪魔 自動車が既記の如く十分間隔の時間制度を嚴行する事になつた結果平驛頭附近に停留する自動車の數が増して店頭の邪魔になり營業上に差支へを生ずるので何んとか改めて貰ひ度いと本日酒井清外十數名が連印で平驛に陳情書を出した

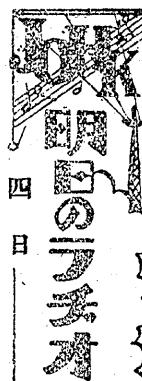
在營中の手當を 軍人鈴木君が感謝の意

学校では先に郡内小學校長會で決議せられた通り教育勅語燒燬四十週年の記念事業として「郡教育事蹟の編輯」すること等をいづれも實行四學年以上の各教室に掲ぐ

店頭の邪魔 自動車が既記の如く十分間隔の時間制度を嚴行する事になつた結果平驛頭附近に停留する自動車の數が増して店頭の邪魔になり營業上に差支へを生ずるので何んとか改めて貰ひ度いと本日酒井清外十數名が連印で平驛に陳情書を出した

学校では先に郡内小學校長會で決議せられた通り教育勅語燒燬四十週年の記念事業として「郡教育事蹟の編輯」すること等をいづれも實行することとなつた

学校では先に郡内小學校長會で決議せられた通り教育勅語燒燬四十週年の記念事業として「郡教育事蹟の編輯」すること等をいづれも實行することとなつた



天氣预报
晴れたり天氣次
第に回復

付けて懲らしめ戒しめよと
教へた。そこで主水は件の
漫陀羅を持ち歸り吉兵衛を

よんで千兩もの品ねれど百
兩で拂つてつかわすと云つ
た。吉兵衛は又々大儲けが
出来ると喜んで娘を吉原の
全藏松葉へ十日間の期限で
あづけ金を借りて漫陀羅を
引取り方々へ持歩いた揚句

偽物とわかつたので吃驚し
懲に吉兵衛の不徳を戒め息
見をすると吉兵衛は涙を流
て娘の一件を話したので
主水も可愛想に思ひ百兩の
金を返してやつた。吉兵衛

はその金を以つて松葉屋へ
行き娘を返してくれと頼む
と最早十日間の期限が切れ
てゐるので承知しなかつた。

吉兵衛は再び主水にわけを
話し、たのむと、主水は實
懇の間である新宿の橋本屋
の主人にたのみ掛合つても
らつた橋本屋は松葉屋へ來
て娘を見ると餘りの美しさ
にこれでは松葉屋がはなさ
ないのは無理はないと先方
の云ひ通り三百兩で娘を
兩で買つてくれた。それを
知つた主水は怒り吉兵衛を
切つて己も切腹して果てよ
うと心をきめ假寺の青山北
雪あとに見て東下りぢやな
いかへな モダン／＼とス
ピート時代 實全く尖端的
だわね

△銀座セーラー
行き歸り 夜の銀座アラ知ら
ない人も 三度出會へばな
つかしいなつかしい道理々
々人通り銀座ちら／＼人通
り 春なれや銀座通りの花賣り
娘 花は賣らずにしなを賣
る／＼ 道理々々人通り銀

座からシヨツプガールの眼
移り行く今の流行はある銀座

電話番號は

四四九

電話番號は

